

HMA-02PM

熱中症チェッカー ポケットミニ

取扱説明書



仕様	表紙
安全上のご注意	1
各部のなまえ	2
使い方 電源	2
測定方法	3
時間設定の仕方	3
熱中症注意お知らせアラームのON/OFF切り替え方法	3
バックライト機能	3

■仕様

測定範囲	暑さ指数	0°C~50°C 1°C単位
測定範囲	温度(気温)	-25°C~70°C 0.1°C単位
	湿度(相対湿度)	20%~95% 1%単位
電源	電 源	リチウム電池(CR2032)×1個
材 質	材 質	ABS樹脂
付 属 品	付 属 品	取扱説明書、吊下げ用バンド、ドライバー、テスト用電池
防水保護等級	防水保護等級	防水保護等級「IPX5」 ※あらゆる方向からの噴流水に対して保護されており、雨天時の使用や水しぶきがかかる環境でもお使いいただけます。ただし、水中での使用や長時間の浸水には対応していません。

安全上のご注意

必ずお読みください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

- *1：重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- *2：傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- *3：物的損傷とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

警告

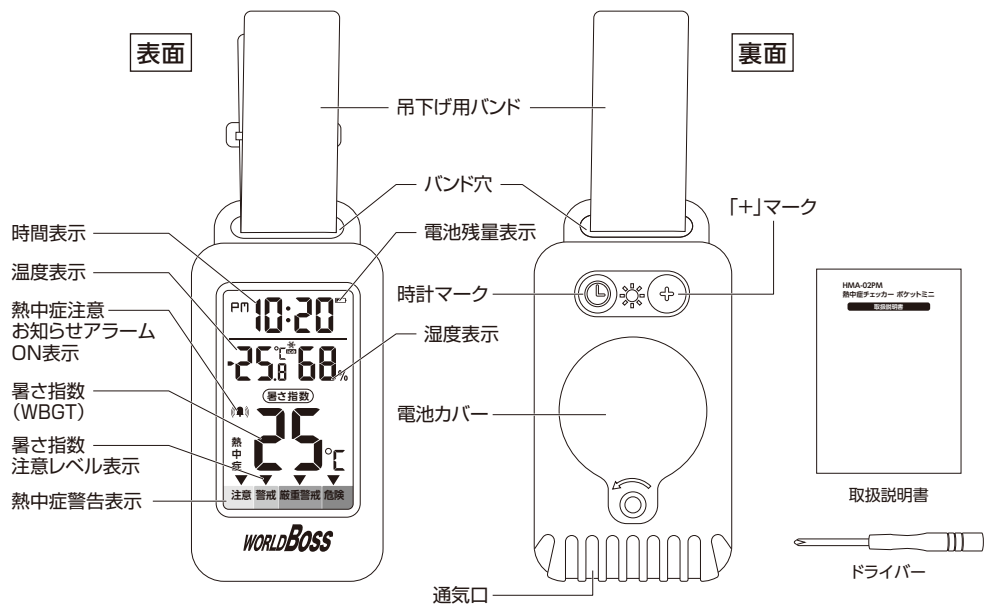
- ご使用前およびご使用中に本製品に異常や故障が見られる場合は、直ちに使用を中止してください。異常状態で使用を続けると、思わぬ事故やけがにつながる可能性があります。
- 本製品および電池を加熱したり、高温となる場所に放置しないでください。過度な熱は製品の变形や電池の発火につながり、けがや火災を引き起こすおそれがあります。
- 乳幼児やお子さまの手の届かない場所で保管してください。また、子どものみで使用させないでください。電池などの小さな部品を誤って飲み込むと、窒息の危険があるほか、感電やけがを招くおそれがあります。万が一飲み込んだ場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

注意

- 分解、改造、またはご自身での修理は行わないでください。誤った扱いにより、感電やけがの原因となる場合があります。
- 本製品を落としたり、上から物を落とすなど強い衝撃を加えないでください。破損することで思わぬ怪我につながるおそれがあります。
- ストラップ等を持って振り回したり乱暴に扱わないでください。人や物に当たりけがをするほか、本体が破損する可能性があります。
- 指定された電池(CR2032)以外は使用しないでください。異なる電池を使用すると故障の原因となります。
- 通信機能を持つ機器や電磁波を発生する電化製品の周囲、また強い電磁波環境下での使用は避けてください。誤作動や測定値の誤差、電池寿命の低下を招く可能性があります。電子レンジ、ワイヤレス機器、電線、変電所、電波塔などから離れてご使用ください。
- 電池は極性(+/-)を正しく確認して装着してください。誤った向きで装着すると故障の恐れがあります。長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。
- ご使用時および保管時は、換気の良い環境を保つようにしてください。
- 水に浸したり、水洗いは行わないでください。通気口内部のセンサーが濡れると、乾燥するまで温度・湿度が正確に測定できない場合があります。
- 40°Cを超える高温のお湯や蒸気を当てないでください。
- 本製品はJIS規格 IPX5(防水)相当の設計ですが、使用環境によっては性能が維持できないことがあります。また故障・破損につながり、測定値が不正確になる恐れがあります。
- 砂・粉じん・ほこりが舞う場所では、電池フタの開閉を行わないでください。
- 廃棄の際は、電池を取り外したうえで、お住まいの自治体のルールに従って処分してください。不明な点がある場合は各市区町村へお問い合わせください

各部のなまえ

本体・付属品 ※乾電池は付属していませんので、別途ご用意ください。

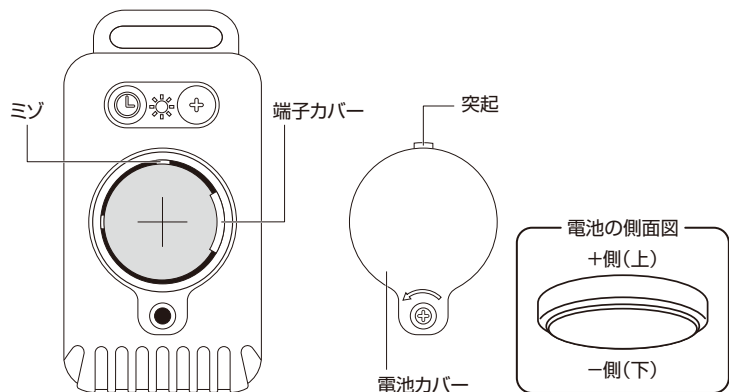


使い方

電源

■電池のセット方法

- ① デジタル表示部裏面の電池ボックスのフタを、ドライバーでネジを緩めて開けてください。
 - ② 図に示された向きに従って、リチウム電池(CR2032)を1個セットしてください。
 - ③ フタを閉じ、ネジをしっかりと締めて固定してください。
- ※付属のテスト電池はモニター用の為、寿命が短い場合があります。



測定方法

- ① 電池を入れると、電源が入り測定結果が表示されます。
- ※急激な温度変化のある環境では、測定値に誤差が生じる場合があります。

●暑さ指数注意レベルとアラームの種類

暑さ指数(WBGT)が21℃以上になると警告アラームと4段階(「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」)で暑さ指数注意レベルを表示します。

危険度の度合いによって下記のように警告アラームの鳴り方が変わります。

WBGTによる温度基準域	アラームの種類
危険	1秒間に「ビビビッ」と鳴り、約20秒間続きます。
嚴重警戒	1秒間に「ビビッ」と鳴り、約10秒間続きます。
警戒	アラームは「ビビビッ」と1秒間鳴ります。
注意	アラームなし

※警告アラームは、温度が上昇し、暑さ指数注意レベルに達したときに作動します。また、暑さ指数注意レベル表示【▼】も、同様に各注意レベルに達したときに表示されます。

※WBGTが21℃未満の場合、警告アラームは鳴らず、暑さ指数注意レベル表示【▼】も表示されません。

※「警戒」「嚴重警戒」「危険」レベルに達した場合は、10分ごとに警告アラームが繰り返し鳴り、注意を促します。

※アラーム音が鳴った場合は、いずれかのボタンを押すことで停止できます。

熱中症予防指針(日本生気象学会出典)

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険(31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒(28~31℃※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒(25~28℃※)	強い生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意(25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※(28~31℃)及び(25~28℃)については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。

※日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」(2022)より

時間設定の仕方

- ① 時刻設定モード
本体裏面の「時計マーク」ボタンを長押しすると、時刻設定モードになり、「時」が点滅します。
- ② 「時」を設定する
「時」が点滅している状態で、「+」ボタンを押して「時」の数字を合わせます。設定できたら、「時計マーク」ボタンを短押しして「分」の設定に進みます。
- ③ 「分」を設定して完了
「分」が点滅したら、「+」ボタンを押して「分」の数字を合わせます。最後に「時計マーク」ボタンを短押しすると、時刻設定が完了します。

熱中症注意お知らせアラームのON/OFF切り替え方法

- 本体裏面の「+」マークボタンを短押しすると、「熱中症注意お知らせアラーム」のON/OFF(アラームの鳴動)が切り替えることができます。

バックライト機能

- 本体裏面の「時計マーク」ボタンを短押しするとバックライトが10秒間点灯します。

高森コーキ株式会社

〒955-8677 新潟県三条市南四日町4-8-18

<https://www.takamori-kohki.co.jp/>

お客様相談室

☎ 0120-177502